

トピック(テーマ)	二度老中を務めた松平忠固		
ねらい	ペリーが開国を迫った当時老中を二度も務めた松平忠固について関心が高まっている。赤松小三郎との関係は無かったのか。松平忠固について調べる。		
キーワード	上田藩主 松平伊賀守 大阪城代 松平忠優 上田縞 老中 ペリー 日米和親条約 日米修好通商条約 佐幕開国 堀田正睦 井伊直弼 将軍家定 徳川齊昭		
概要を知るためのツール	1	書名	上田藩松平家物語:改題「松平家累代の話」
		著者名	松野喜太郎／著
		出版社	郷土出版社
		出版年	1982
	内容紹介	著者松野喜太郎が昭和10年から16年まで6年間にわたり「上田郷友会月報」に「松平家累代の話」として連載されたものをまとめたもの。上田藩主松平伊賀守八代の忠固について、大坂城代となり上田縞の販路を拡大したこと、老中となり佐幕開港を主張したこと、開国の恩人は忠固であること等を知ることができる。	
資料リスト	1	書名	幕末の信州:近代への序章
		著者名	小松芳郎／監修
		出版社	郷土出版社
		出版年	2008.11
	内容紹介	幕末・維新时期における激動の信州の姿を、豊富な写真・図版を用いて、ビジュアルかつ詳細に紹介。信州に起きた事件や出来事等について取り上げられ、第5章で諸藩の動きと改革が述べられている。幕末を駆け抜けた郷土の人物伝には、忠固の息子松平忠礼、松平忠厚についても記載されている。	
	2	書名	松平忠固・赤松小三郎:上田にみる近代の夜明け
		著者名	上田市立博物館／編
		出版社	上田市立博物館
		出版年	1994.1
	内容紹介	著者小林利通による調査、研究をまとめて冊子化したもの。	
	3	書名	赤松小三郎ともう一つの明治維新:テロに葬られた立憲主義の夢
		著者名	関良基／著
		出版社	作品社
		出版年	2016.12
	内容紹介	安政4年10月29日、獄中の吉田松陰が桂小五郎に宛てた「桂小五郎に與ふる書」の中に上田侯(松平忠固)に期待している旨の書状が収録されている。	
	4	書名	赤松小三郎 松平忠固:維新変革前後異才二人の生涯
著者名		上田市立博物館編	
出版社		上田市立博物館	
出版年		2000.1	
内容紹介	展示解説図録 会期:平成12年10月14日-11月19日		
インターネット情報	1	サイト名	信州地域史料アーカイブ
		URL	https://trc-adeac.trc.co.jp/WJ11C0/WJJS02U/2000515100
		概要	人物等を調べるパスファインダー(調べ案内)が掲載されている。
	2	サイト名	国立国会図書館サーチ
		URL	https://iss.ndl.go.jp/
		概要	松平忠固に関する資料を、図書・デジタル資料などから探すことができる。
新聞	1	記事	最後の上田藩主の弟 松平忠厚に光

	発行機関	信濃毎日新聞社 朝刊19ページ
	年月日	1996.10.19